

●ごみ処理事業費の歳入と歳出比較（令和元年度・令和7年度）

	歳入（収入）	歳出（支出）
令和元年度	7,477万円 ▶ 11億1,795万円 ※不足の10.43億円は税金	
令和7年度	3億 23万円 ▶ 11億7,567万円 ※不足の8.75億円は税金 ※歳入のうち約1.5億円はごみ袋売り上げなど	

令和元年度はごみ処理のために、約10・43億円もの税金が必要でしたが、ごみ袋の販売手数料などにより令和7年度は一般財源からの持ち出しを約8・75億円まで抑えられており、税金で補うごみ処理経費を減らすことができます。

Q **ごみ処理収支はどうなったの？**

A 皆さんの協力で、税金での補填はなくなっています。

以前は愛媛県11市中で最下位だった「一人一日当たりのごみ排出量（784グラム）」ですが、令和5年から始まった「家庭系ごみ袋の有料化」をきっかけに状況が一変しました。分別への意識が高まり、令和6年度現在では、6位（594グラム）と、ちょうど中間にまで改善しています。これまでの取り組みに心から感謝申し上げます。引き続き、無理のない範囲でご協力をお願いします。

●道前クリーンセンターに搬入された家庭系ごみの量の比較（令和4年度→7年度）



ごみ袋の代金は、収集運搬や施設の維持管理など、皆さんの暮らしに欠かせない「ごみ処理」の運営に使われています。

こうした皆さんの負担を財源に、資源ごみの拠点回収場所を増やすなど、分別しやすい環境づくりを進めています。10月からはごみを出すのが難しい方をサポートする「ふれあいごみ収集」もスタート。まちの衛生や環境のために、活用していきます。



資源ごみ・危険ごみを回収できる「拠点回収（市庁舎や一部公民館に設置）」。再利用率を高め、危険ごみが混入するリスクを軽減

Q **有料化でごみは減ったの？**

A 皆さんの協力で、確実に減少しています！

Q **ごみ袋代はどう使われている？**

A ごみ収集や施設の維持管理に使用しています。

ごみ袋の有料化で変わったの？



西条市のごみ事情 どうなった!?

ごみ袋の有料化など新しい施策から3年が経過

「ごみの減量」を目的に令和5年から新しいごみの施策が始まりましたが、特に「家庭系ごみ袋の有料化」について、「本当に効果があるの？」という声をいただいています。特集では、有料化後の変化や、ごみ処理の安全に関わる大切な情報などにお答えします。

「分別」は、作業員の命と、街の安全を守るルールです



分別が守られないと、ごみの破碎機で詰まりが発生し、危険な手作業での復旧を余儀なくされます。また、火災が起されば施設の修繕に多額の税金がかかるだけでなく、最悪の場合、収集そのものが止まってしまうリスクもあります。皆さんのせっかくの減量努力を無駄にしないためにも、分別の徹底にご理解とご協力をお願いいたします。

昨年、施設内で火災が複数回発生しました。原因の多くは、紛れ込んだ「使い捨てライター」「スプレー缶」、そして「リチウムイオン電池」です。ごみ袋に入れる前に、これらのごみが無いか必ず確認しましょう。出し方が分からない場合はお問い合わせを。

Q **ごみ処理のトラブルや問題は？**

A ライターやリチウムイオン電池による施設火災が問題となっています。

モバイルバッテリー・ハンディファン・スマートフォンなどに使用



▲道前クリーンセンターで、昨年発生した火災（右）と可燃ごみピットでの火災時の消火活動（左）

その他の質問

Q びんやペットボトルをもえないごみで出してもいい？

A びんやペットボトルは「資源ごみ」です。分別収集にご協力をお願いします。

Q もえないごみ袋にもえるごみを入れてもいい？

A いいえ、（以前は可能でしたが）今は入れられません。もえるごみは緑のごみ袋に入れてください。

Q 有料化後の指定ごみ袋は、破れやすくなったのでは？

A 指定ごみ袋の厚さの変更は行っておりません。令和4年度使用分と同じ厚さで作成しています。

ごみ出しの豆知識紹介中!

広報紙で毎月紹介している「ごみ通信（21ページ）」ではワンポイントアドバイスを紹介。ホームページでは過去の記事もチェックできます！